

徳島市中心部における阿波踊り期間中の景観イメージに関する研究

胡 文強・渡辺 公次郎・辻岡 卓

A Study on the Characteristics of Landscape Image during AWA-ODORI festival in Downtown of Tokushima City

Wenqiang HU, Kojiro WATANABE, Suguru Tsujioka

Abstract: The purpose of this paper is to analyze landscape image in Tokushima downtown area during Awa-Odori festival. We used the tweet data with geo-tag from 12th to 15th of Aug. We arranged noun and adjective from these tweet data including place name. We analyzed adjective from the view point of negative and positive image. Many tweet with positive image has appeared in Minami-uchimachi and Ryogokubashi area.

Keywords: 景観イメージ (Landscape Image), ツイッター (Twitter), 徳島市中心市街地 (Downtown Area in Tokushima City), 阿波踊り (AWA-ODORI Festival)

1. はじめに

毎年 8 月 12 日～15 日にかけて、徳島市中心部を舞台に阿波踊りが開催される。例年、130 万人以上の来場者があり、徳島県内では最大のイベントである。現在は、徳島市中心部に設置された 6 ヶ所の演舞場に加え、市街地内の通りや広場など、あらゆる所で踊られており、それらを自由に見学することができる。しかし、阿波踊り期間中以外は、来訪者も非常に少なく、他の地方都市中心部と同様に、衰退化が著しい。

景観は、まちづくりにおける重要な地域資源である。阿波踊り期間中、県内外から多くの人々が徳島市中心部に来訪するが、彼らが徳島の景観をどのように感じたのかを知ることができれば、保全すべき景観や、問題のある景観を把握することができ、市街地整備の基礎的な情報となり得る。

そこで本研究では、SNS の一つであるツイッタ

ーを用いて、阿波踊り来訪者の景観イメージの特徴を示す。手軽に、その場で、感じたことを投稿できるツイッターは、若年層を中心に爆発的に利用が進んでいる。本研究では、ツイッターに書き込まれた文章（ツイート）を分析することで、場所と景観イメージとの関係を把握する。

2. 研究対象地域

研究対象地域は、図 1 に示す徳島市中心部、具体的には、徳島駅を中心に半径 2.5km の範囲とする。この中には、徳島市の中心市街地が含まれており、阿波踊り期間中には、多くの来訪者で賑わう。徳島市は吉野川河口部に発展したまちであり、中心部に小規模河川が多く存在する。全体的に平地であるが、南西部には眉山があり、市のシンボルの存在となっている。

3. データの分析

3.1 用いたデータ

本研究で用いるツイートは、ツイッターの API 機能を用いて、ジオタグ付きのツイートのみを収

胡 文強 〒770-8506 徳島市南常三島町 2-1
徳島大学大学院先端技術科学教育部建設創造システム
工学コース博士後期課程
Phone: 088-656-7612
E-mail: c501541004@tokushima-u.ac.jp

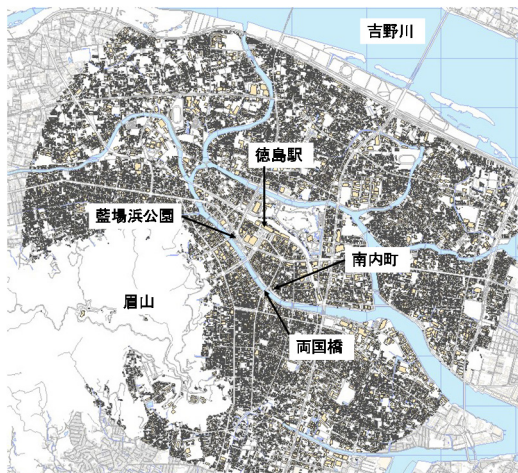


図1 研究対象地域

集した。対象期間は、2014年8月12日06時00分～15日23時59分である。収集したデータに付随する位置座標から対象地域を判定し、さらに、地震情報や天気予報、各種サービスのプロモーション的なツイートなど、自動投稿と考えられるツイートを削除した。その結果、分析対象のツイート数は、3791となった。

3.2 分析の方法

これらのツイートに対し、形態素解析を行い、名詞と形容詞に分解する。ここでは、統計解析ソフトRを介して利用する、日本語形態素解析エンジン RMeCab（工藤 2013、石田 2009）を用いて作業を行った。次に、高村大也氏が開発した、感情単語極性対応表（Takamura et al., 2005）を用いて、形容詞を定量化した。この表は、形容詞が持つ印象を、良い、悪いに分け、その印象の度合いを0.0～1.0(-1.0)の数値で表したものである。

このようにして整理した名詞、形容詞の頻度ならびに、感情単語極性対応表を用いて定量化した形容詞をGISで表示することで、場所と景観イメージの関係を分析する。

4. 景観イメージの分析

4.1 名詞、形容詞の抽出

本研究では、徳島市中心部の景観イメージを分析するため、名詞を場所とそれ以外に分けた。全3791ツイートの中から、徳島市中心部の場所に関

連する名詞を抽出し、その出現頻度を集計し、上位4位までを分析で用いた。多い順に、「藍場」「両国橋（両国、両国本町）」「南内町」「徳島駅（バスターミナル）」と続いている。括弧内は、同じ場所を示していると考えられる、別の名詞である。

場所以外の名詞としては、「人」「踊り」「連」「演舞」「車」であった。この中で、「踊り」と「演舞」は意味が同じであるため、合算した。

次に、場所に関する名詞が含まれるツイートの中から、形容詞を、良い（ポジティブ）、悪い（ネガティブ）別に抽出した。表1にその内容と頻度を示す。ポジティブ形容詞は56、ネガティブ形容詞は29であり、ポジティブな方が多くなった。

表1 抽出した形容詞

ポジティブ	頻度	ネガティブ	頻度
良い・よい	11	ない	7
楽しい・たのしい	10	やばい	4
いい	9	激しい	2
凄い・すごい	7	遠い・とおい	2
可愛い・かわいい	4	欲しい・ほしい	2
素晴らしい・すばらしい	3	あつい	2
面白い・おもしろい	3	忙しい	2
旨い・うまい	3	難しい	1
美しい	1	汚い	1
清々しい	1	寂しい	1
明るい	1	うるさい	1
早い	1	怖い	1
眩しい	1	にくい	1
力強い	1	さみしい	1
		羨ましい	1
合計	56	合計	29

4.2 時間帯別の集計

次に、つぶやかれた時間帯別にポジティブ、ネガティブ形容詞を集計した（図2）。阿波踊りは18時から22時頃まで行われることが多いため、18～24時の件数が最も多い。午前中は、ポジティブとネガティブが同程度つぶやかれているが、それ以外は、ポジティブなつぶやきが多かった。

4.3 場所ごとの景観イメージの分析

次に、GISを用いて、景観イメージの分布を考察する。ここでは、ポジティブ、ネガティブに分けて景観イメージを分析する。分布の集計単位は100mメッシュとした。

ポジティブ形容詞に感情単語極性対応表を当てはめ、数値化した値（以下、ポジティブ値）を

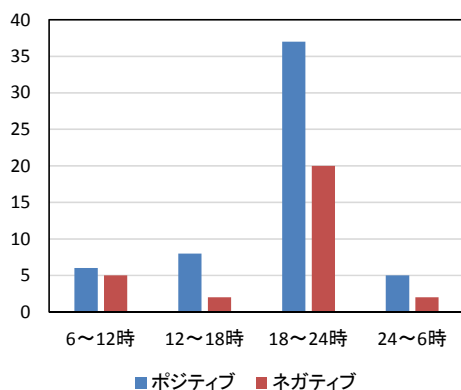


図2 時間帯別の景観イメージ

図3、ネガティブ形容詞についても同様の処理を施した値（以下、ネガティブ値）を図4に示す。

次に、場所に関する名詞として、頻度が多かった上位4地域の件数をGIS上で示した（図5～図8）。当然ながら、「藍場」では藍場浜公園が最も多くつぶやかれているが、その周辺でも少数ながら、つぶやきが見られる。これは他の場所でも同じ傾向であった。

図5に示す「藍場」に関するつぶやきと、ポジティブ値、ネガティブ値を比較すると、両方の値が高いメッシュが存在する。藍場浜公園付近であるが、ここは阿波踊りの演舞場の一つであり、栈敷席も用意される。ただし、国道沿いであること、中心部の繁華街からやや離れていることもあり、両方の評価になったと考えられる。

逆に図6と図7に示す「南内町」「両国橋」は、ネガティブ値よりもポジティブ値の方が高い。「南内町」は藍場浜公園と同様の有料演舞場がある。「両国橋」には有料演舞場はないが、無料の演舞場や、両国橋付近で自由に踊られている場所が多く存在し、隣接する南内町と合わせて、阿波踊りの雰囲気を感じることができる地区である。

図8（徳島駅）と図3、図4と比較すると、ポジティブ値の方が高いものの、ネガティブ値が高いメッシュも存在する。徳島駅周辺で阿波踊りは踊られていないが、県内外の来訪者の多くが利用する地区であるため、多くの人で賑わう時間帯が長い。このことが、ポジティブ、ネガティブの両

方のイメージに影響していると考えられる。

次に、場所以外の名詞として最も頻度が高かった「踊り（演舞含む）」の分布を図9に示す。当然ながら、演舞場付近で高い値を示しているが、その周辺でもつぶやかれている。阿波踊りは、有料、無料演舞場以外でも、小さな広場や通りなどで自由に踊られており、それが徳島市中心部の重要な景観要素となっている。図9と図3、図4を比較すると、南内町や両国橋付近で「踊り」がポジティブな評価となっている。藍場浜公園と両国橋との間でも「踊り」が多くつぶやかれているが、イメージに関するつぶやきが少なかったことから、添付写真を使って分析する必要がある。

5. まとめ

以上、本研究では、ツイートデータを用いて、阿波踊り期間中の景観イメージを分析した。その結果、阿波踊りが踊られている地区で多くのつぶやきがあったものの、イメージとの関係を見ると、駅周辺よりも、南内町や両国橋付近の方がポジティブなイメージが高いことが分かった。

参考文献

- 石田基広(2009):「Rによるテキストマイニング入門」, 森北出版株式会社
- 工藤拓(2013), MeCab,
<http://taku910.github.io/mecab/>
- Hiroya Takamura, Takashi Inui, Manabu Okumura (2005) "Extracting Semantic Orientations of Words using Spin Model", ACL2005, pp.133-140,
http://www.lr.pi.titech.ac.jp/~takamura/pndic_en.html

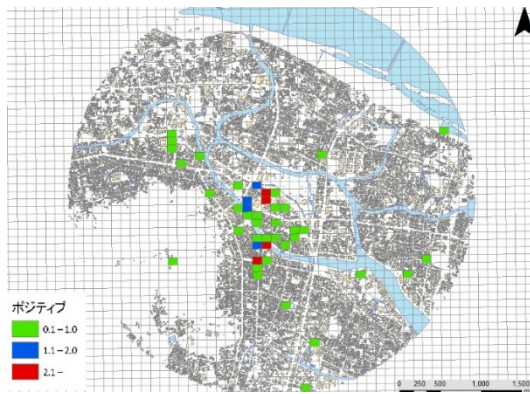


図3 ポジティブ値

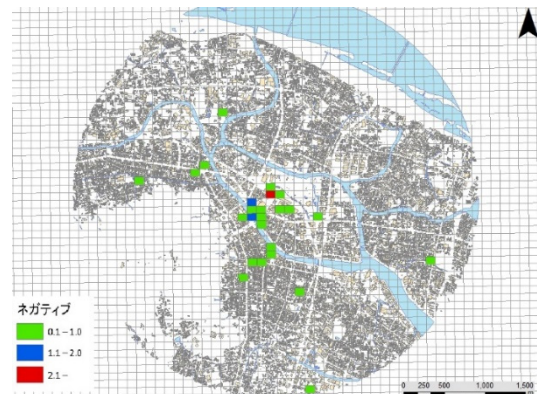


図4 ネガティブ値

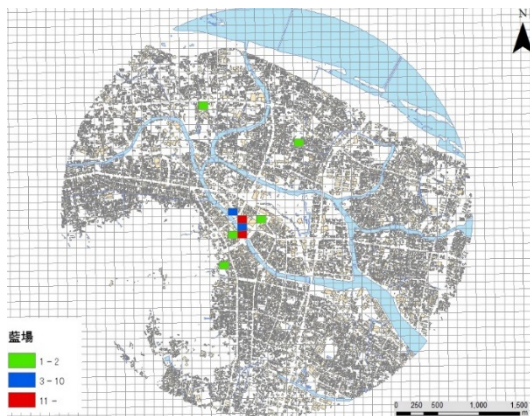


図5 「藍場」の頻度



図6 「南内町」の頻度



図7 「両国橋」の頻度

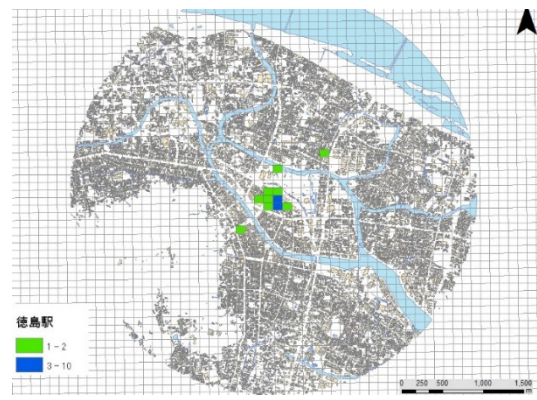


図8 「徳島駅」の頻度

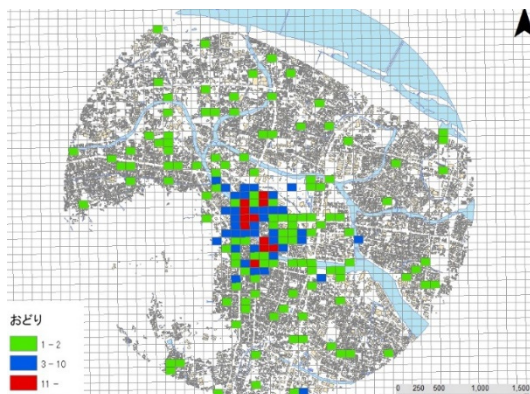


図9 「おどり」の頻度